

国立病院機構熊本医療センター

# くまびょうNEWS



## 新年のご挨拶



院長

たかし  
高橋 毅

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は登録医の先生方をはじめ、医師会および歯科医師会の皆さまには、多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございました。

さて、長年皆さまにご迷惑をおかけしてきました、増築工事がいよいよ竣工し、3月2日(月)より運用開始致します。2月11日(祝)には内覧会を計画していますので、お越しいただけますと幸いに存じます。

当院は、「救急医療」と「がん診療」を診療の大きな2つの柱としていますが、新棟には「がん総合医

療センター」を新設し、がん患者さまに寄り添った、できるだけ低侵襲で優しくきめ細かい、がん診療を提供致します。

新棟完成後は、手狭となりました「救命救急センター外来」の拡充工事へ引き続き取りかかりますので、もしばらくご迷惑をおかけすることとなります。

今年も、登録医の先生方や地域の医療機関の皆さま方と共に、熊本県の医療に貢献できますよう努力して参る所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



副院長

はしもと  
橋本 のぶろう  
伸朗

新年あけましておめでとうございます。

まず、県内外の医科・歯科連携病院、施設の皆様におかれましては、日頃より当院に御理解御協力をいただき有り難うございます。私と致しましては、昨年4月に執行部に入りまして特に医療安全について学びながら取り組ませていただきました。繰り返されるインシデントの多さに、まさに「医療安全にゴールはない」を実感した一年でありました。「ルールを守るものはルールに守られる」昨年一番心に残った言葉です。これからも地道に前進していきたいと存じます。

さて、今年2月には新外来棟も竣工いたします。新たな気持ちとともに今年一年医療安全第一で無事に乗り切りたいと存じます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



副院長

ひだか  
日高 みちひろ  
道弘

明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。

今年には2020年のねずみ年。オリンピックが開催される年にあたり、当院としては150周年、新外来棟での診療が開始となるなど、なにかと節目の年になりそうです。また、診療報酬改定の年にあたり、数年前から懸案の地域医療構想、働き方改革など医療環境を大きく変える改革もうまく乗り切らねばならないと思っています。さらなる飛躍の年になるよう、気持ちを新たに頑張りたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 【特集】

## 新年のご挨拶

- 院内医学会プログラム
- 熊本医療センター 学術講演会
- くまびょう TOPICS
- 医学シリーズ（整形外科）
- 研修医レポート
- 研修日程表
- 外来担当医名簿



### 看護部長

いずみ

泉

さなえ

早苗

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、熊本初の看護師特定行為研修指定施設として、研修修了者2名を輩出し、今年はいよいよ活動を開始します。また、関係者のご尽力を持って、いよいよフライトナースも始動します。十二支の1番目である子年だからこそ、地域の皆様のために何ができるのか、一人一人が持てる力を再認識し、学び育て、今より一步先の未来に向かって行動する始まるの年にしていきたいと思えます。

私たち一人一人の力はねずみの様に小さいかもしれませんが、地域医療の関係者の皆様と共に手をとりあい大きな力となり、令和の道を一步一步進んでまいりたいと思えますので、本年も何卒よろしくお祈りいたします。



### 薬剤部長

なかがわ

中川

よしひろ

義浩

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は臨床薬理セミナーや二の丸薬薬連携講演会では熊本県病院薬剤師会、熊本県薬剤師会、熊本市薬剤師会の皆様には大変お世話になりました。

現在、外来経口抗がん剤患者さまへのフォローアップ体制の強化に取り組んでいます。処方箋のコメント欄を用いて初回の薬剤説明を薬局に依頼し、その際に返信されてくる情報をもとに2回目以降の薬剤師外来を行う予定です。またレジメン等の薬物療法の情報や処方箋の疑義照会内容、医薬品安全性情報を共有し、良質で安全な薬物療法が提供できるように連携を深め、相互に情報発信ができるように努めていきたいと思えます。

熊本の皆様と地域の医療関係者の皆様ととって、良い一年になりますようお祈りいたします。



### 事務部長

うえまつ

植松

ひろし

裕

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年中は大変お世話になりました。本紙面をお借りして、お礼申し上げますと共に本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

さて、今年の干支は「子年」であり、オリンピックの年でもあります。

ちなみに「子年」には増えるという意味合いがあり、命が誕生しようとする意味があります。当院も今年3月には新外来棟が新築オープンし、また新しい年が始まります。益々のご発展を祈念いたしますと共に、今年一年「一生懸命」、「一所懸命」頑張ってお祈りいたします。最後に、本年が皆様方にとって、良い年になりますようお祈りいたします。



### 臨床研究部長

地域医療研修センター長

とみた

富田

まさお

正郎

明けましておめでとうございます。

当院は新薬の治験にさらに積極的に取り組みます。希望される患者さまがいらっしゃいましたら是非御紹介ください。

さて働き方改革を受け、今や臨床研究・教育はある意味逆風の時代です。上司からの直接指示または暗示があれば研究や学会発表、時間外の勉強会出席等々は『業務』と見なすべし、等々この数年で信じられぬほど考え方が変化し、健全経営の桎梏となります。

しかしそんな時代でも若手の医療者や将来の医療の質が劣化しないために、向上心がありアカデミックな活動にも取り組む当院職員に対して病院としても可能な限りバックアップを行い、また、院外の先生方やスタッフの方々にも、可能な限り勉強会や研修会の機会を提供し続ける所存です。

本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。



### 統括診療部長

みやなり のぶとも  
宮成 信友

新年あけましておめでとうございます。  
昨年は、令和となり時代の変化を感じる年でした。また、ラグビーワールドカップが開催され熊本でも2試合行われ記憶に残る1年でもありました。私としては、統括診療部長としての1年目で、地域連携等で皆様に貢献できたかどうかと反省する1年でもありました。

今年は、新しい外来棟の運用も始まり、診療部としては業績向上が責務となる年の始まりです。病院全体が one team となれるように診療部をまとめて頑張っていきたいと思っています。今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



### 地域医療連携室室長

きくかわ ひろあき  
菊川 浩明

新年あけましておめでとうございます。地域医療連携室室長兼泌尿器科部長の菊川です。連携室室長に就きましてから、県内の各病院の地域医療連携の会に参加する機会を頂きました。平日の夜間に行われる場合が殆どでしたので、最初は仕事に疲れ果て義務的な気持ちで臨んでいました。しかし、各病院の新たな取り組み、患者さまを増やすための努力を知るにつけ、連携会の参加も有意義なものに変わり、時には衝撃を覚えるような医療技術にも出会える事ができました。熊本医療センターを振り返ってみると、当院での新たな取り組みは十分であるのか、各診療科の診療内容はレベルアップできているのかなどいろいろと考える機会を頂きました。各医療機関の皆様には感謝申し上げます。

今年も全力で医療連携に取り組みます。どうぞ指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。なお、懇親会の料理は当院のものより上等?で美味しかったように感じました。



### 救命救急部長 救命救急センター長

はらだ まさひろ  
原田 正公

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、当院の救命救急センターに格別のご高配をいただき誠にありがとうございます。

当院の救命救急センターは、「24時間365日、全職員を挙げて断らない救命救急医療」を基本理念に掲げ、救命救急医療に取り組んでおります。しかしながら、やむを得ない事情のため、時にお断りしたり、他の病院への紹介や入院をお願いさせていただいたりすることもございます。心よりお詫び申し上げますとともに、このような時に入院をいつも快くお引き受けいただいている病院の先生方におかれましては、心より感謝申し上げます。今年も、基本理念に則り、救命救急医療に取り組んでまいりたいと存じます。何卒、当センターにご支援・ご指導をいただきますようお願い申し上げます。



# 第25回 国立病院機構熊本医療センター医学プログラム

令和2年1月18日(土)

## 開会の辞

8:35~8:40

高橋 毅(国立病院機構熊本医療センター院長)

## 一般演題Ⅰ「外科系・その他部門」

8:40~9:52

座長: 岩上 志朗 先生(熊本大学大学院生命科学研究部 消化器外科学 外科医長、助教)  
竹下 弘子(国立病院機構熊本医療センター 5北病棟ICU看護師長)

- I-1 当院のリンパ浮腫における複合的治療とセルフケア教育の現状と課題  
看護部<sup>1)</sup> 形成外科<sup>2)</sup> 安永浩子<sup>1)</sup> 大塚美里<sup>1)</sup> 川竹美恵<sup>1)</sup> 後藤みゆき<sup>1)</sup> 大島秀男<sup>2)</sup>
- I-2 炎症マーカーはACP(アドバンスケアプランニング)の時期を決める客観的指標になり得るか?  
腫瘍内科 磯部博隆 山本春風 榮 達智 境 健爾
- I-3 当科における小径腎細胞癌に対する凍結療法の初期経験  
泌尿器科 近浦慶太 東俊之介 西澤秀和 鮫島智洋 銘苅晋吾 矢野大輔  
前田喜寛 菊川浩明
- I-4 TAPP術後の水腫/血腫発症リスク因子の検討  
外科 森戸 淳 小澄敬祐 久保田竜生 湯本信成 松本嵩史 美馬浩介  
井上光弘 水元孝郎 宮成信友
- I-5 急性胆嚢炎における早期胆嚢摘出術の妥当性とPTGBDの有用性の検討  
外科 湯本信成 小澄敬祐 美馬浩介 森戸 淳 松本嵩史 井上光弘  
水元孝郎 久保田竜生 宮成信友
- I-6 非骨傷性頸髄損傷に手術適応はないのか?  
整形外科 唐田宗一郎 田畑聖吾 福元哲也 前田 智 中馬東彦 松下任彦  
平井奉博 相馬史郎 橋本伸朗
- I-7 前交通動脈破裂巨大脳動脈瘤の一例  
脳神経外科 中川隆志 武末吉広 水上秀紀 大塚忠弘
- I-8 小児の上腕に発生した木村氏病の1例  
形成外科<sup>1)</sup> 小児科<sup>2)</sup> 前山 徹<sup>1)</sup> 東野哲志<sup>1)</sup> 大島秀男<sup>1)</sup> 水上智之<sup>2)</sup>

## 一般演題Ⅱ「内科系・歯科・その他部門」

9:55~11:07

座長: 瀧 賢一郎(国立病院機構熊本医療センター手術センター長 麻酔科部長)  
出口 恵美(国立病院機構熊本医療センター 7西病棟看護師長)

- II-1 静注血栓溶解(rt-PA)療法が有効であった発症時刻不明脳梗塞の一例  
脳神経内科 津田麻友美 津田幸元 天野朋子 小阪崇幸 幸崎弥之助
- II-2 血栓性微小血管症を合併した悪性リンパ腫の一例  
血液内科 福田俊樹 窪田 晃 杉谷浩規 平野太一 三井士和 井上佳子  
榮 達智 原田奈穂子 河北敏郎 日高道弘
- II-3 骨髄異形成症候群を発症したKlinefelter症候群の一例  
血液内科 水田貴大 三井士和 河北敏郎 原田奈穂子 榮 達智 井上佳子  
平野太一 窪田 晃 杉谷浩規 日高道弘
- II-4 病棟・緩和ケア・NST各担当栄養士が関わり栄養管理を行った1症例  
栄養管理室 酒井雄士 木佐貫悠 北向由佳 四元有吏
- II-5 歯科口腔外科の障がい者における麻酔導入  
歯科口腔外科<sup>1)</sup> 麻酔科<sup>2)</sup> "宮本悠基<sup>1)</sup> 中島 健<sup>1)</sup> 瀧賢一郎<sup>2)</sup>
- II-6 当院における摂食嚥下チームの取り組み~KTバランスチャート(KTBC)を導入してみえてきたこと~  
歯科口腔外科 蒲原英恵 谷口広祐 中尾美文 中川文雄 田平佳苗 森久美子  
森 淑子 中島 健
- II-7 7南病棟に入院となった自傷・自殺未遂症例の検討  
精神科<sup>1)</sup> 心理療法士<sup>2)</sup> 泉 雄気<sup>1)</sup> 大潮一太<sup>1)</sup> 右田 光<sup>1)</sup> 満崎晃志<sup>1)</sup> 橋本 聡<sup>1)</sup>  
地域医療連携室<sup>3)</sup> 7南副看護師長<sup>4)</sup> 山下建昭<sup>1)</sup> 濱野 学<sup>2)</sup> 安藤秀隆<sup>3)</sup> 佐々木主一<sup>4)</sup> 竹下喜代美<sup>5)</sup>  
ドクター秘書<sup>5)</sup>
- II-8 無呼吸と意識障害をきたし集中治療で改善した非痙攣性てんかん重積発作(NCSE)の一例  
救急集中治療部 楯 直晃 松尾悠史 深水浩之 室谷直樹 江良 正 狩野巨平  
山田 周 北田真己 櫻井聖大 渋沢崇行 清水千華子 原田正公  
高橋 毅

## 一般演題Ⅲ「事務・看護部門」

11:10~12:13

座長: 前田光一郎(国立病院機構熊本医療センター事務部経営企画室長)  
押川妃二美(国立病院機構熊本医療センター 7北病棟看護師長)

- III-1 ドクター秘書による簡易版IRの検証と改訂  
統括診療部<sup>1)</sup> 総合情報センター部<sup>2)</sup> 宮本雅子<sup>1)</sup> 山下直美<sup>1)</sup> 原 向見<sup>1)</sup> 竹下喜代美<sup>1)</sup> 林田しのぶ<sup>1)</sup>  
園田美樹<sup>2)</sup> 宮成信友<sup>1)</sup> 片淵 茂<sup>1)</sup>

- Ⅲ-2 働き方改革に向けた「情報の共有と業務の効率化」について  
事務部企画課 新里江美子 安藤隆幸 野村彩乃 志道依見 小原直樹
- Ⅲ-3 適切な給与の支給に関する取組について  
事務部管理課 阿南裕介 植松 裕 出良和之 有馬義弘 窪田真莉絵 落合敦也  
松岡さゆり
- Ⅲ-4 救急医療管理加算算定増加への取り組み  
経営企画係長<sup>1)</sup> 事務部長<sup>2)</sup> 南園 奨<sup>1)</sup> 植松 裕<sup>2)</sup> 原田正公<sup>3)</sup> 前田光一郎<sup>4)</sup> 照屋彩子<sup>5)</sup>  
救命救急センター長<sup>3)</sup> 園田美樹<sup>5)</sup>  
経営企画室長<sup>4)</sup> 診療情報管理士<sup>5)</sup>
- Ⅲ-5 看護安全対策委員会における危険予知トレーニング導入の効果について  
救命救急センター 富永啓史 牧野由希 上田緋沙美 森山ひろみ 堂園千代子 井上範子
- Ⅲ-6 当院における排尿ケアチーム介入の現状  
看護部<sup>1)</sup> 診療看護師<sup>2)</sup> 藤川美和<sup>1)</sup> 上田緋沙美<sup>1)</sup> 田淵 宏<sup>1)</sup> 香月 麗<sup>2)</sup> 山田里香<sup>1)</sup>  
泌尿器科<sup>3)</sup> 鮫島智洋<sup>3)</sup> 銘苅晋吾<sup>3)</sup> 前田喜寛<sup>3)</sup> 菊川浩明<sup>3)</sup>
- Ⅲ-7 透析室における透析開始前のタイムアウトの有用性  
看護部<sup>1)</sup> 臨床工学技士部<sup>2)</sup> 深山美香<sup>1)</sup> 杉谷珠美<sup>1)</sup> 松下尚暉<sup>2)</sup> 竹本勇介<sup>2)</sup>

## 昼 食 (12:13~13:00)

一般演題Ⅳ「メディカルスタッフ・看護学校部門」 座長：竹本 勇介（国立病院機構熊本医療センター主任臨床工学技士）  
13:00~14:12 高松三穂子（国立病院機構熊本医療センター附属看護学校教員）

- Ⅳ-1 THA術後肺塞栓症・せん妄に対してリスク管理及びチーム介入を行い歩行能力拡大した高齢患者について  
リハビリテーション科 和田千尋 古賀大地 榮 彩人 宮川恵輔 田中美和 三輪栄太郎  
石原亮一 田中正則
- Ⅳ-2 院外処方箋における検査値表示による疑義照会への影響  
薬剤部 吉本辰暁 鶴崎泰史 花田聖典 中川義浩
- Ⅳ-3 院内製剤の管理体制の見直しに関する取り組み  
薬剤部 坂田光平 花田聖典 鶴崎泰史 中川義浩
- Ⅳ-4 診療報酬改定に伴う高気圧酸素療法の業績比較  
救急救命部 臨床工学技士 森永良和 新木信裕 田代博崇
- Ⅳ-5 輸血後感染症検査実施率向上への取り組みとその成果  
臨床検査科<sup>1)</sup> 血液内科<sup>4)</sup> 川畑小百合<sup>1)</sup> 林 秀幸<sup>2)</sup> 田中里美<sup>3)</sup> 日高道弘<sup>4)</sup>  
熊本大学病院中央検査部<sup>2)</sup>  
国立病院機構大牟田病院臨床検査科<sup>3)</sup>
- Ⅳ-6 国外、県外で発生した重篤な有害事象について～速やかな報告をするために～  
治験センター<sup>1)</sup> 薬剤部<sup>2)</sup> 白澤宏美<sup>1)</sup> 宮本美穂<sup>1)</sup> 市下由美<sup>1)</sup> 正代敦子<sup>1)</sup> 吉井 薫<sup>1)</sup> 齊田翌美<sup>1)</sup>  
臨床研究部長<sup>3)</sup> 宮本聖子<sup>1)</sup> 鶴崎泰史<sup>2)</sup> 中川義浩<sup>2)</sup> 富田正郎<sup>3)</sup>
- Ⅳ-7 Dual Energy CT撮影による胆石の検出能の評価  
放射線科 岩元優樹 花田広憲 本山雄基 近藤裕樹
- Ⅳ-8 「統合援助技術」演習における学生の思考と行動の関連  
附属看護学校 橋口清美 市場美織

一般演題Ⅴ「内科系・小児科部門」 座長：鈴木 保子 先生（阿部内科医院 院長）  
14:15~15:27 藤戸 邦子（国立病院機構熊本医療センター6南病棟看護師長）

- V-1 当院における腫瘍出血に対する緩和的放射線治療成績  
放射線治療科 松本忠士 富高悦司
- V-2 Pork-cat syndromeの3例  
小児科 平井奈美 緒方美佳 水上智之
- V-3 DPP4阻害薬と類天疱瘡について  
皮膚科 城野剛充 島田佳奈子 島田秀一 牧野公治
- V-4 発症から治療まで経過を追えたCronkhite Canada症候群(CCS)の1例  
消化器内科<sup>1)</sup> 大熊見奈<sup>1)</sup> 富口 純<sup>1)</sup> 志茂田美紀<sup>1)</sup> 上野茂紀<sup>1)</sup> 久木山直貴<sup>1)</sup>  
武蔵ヶ丘病院 内科<sup>2)</sup> 松山太一<sup>1)</sup> 石井将太郎<sup>1)</sup> 中田成紀<sup>1)</sup> 杉 和洋<sup>1)</sup> 前田和弘<sup>2)</sup>
- V-5 心臓転移した肝細胞癌の1例  
消化器内科 岡本祐毅 富口 純 志茂田美紀 上野茂紀 久木山直貴 松山太一  
石井将太郎 中田成紀 杉 和洋
- V-6 『慢性腎臓病(CKD)対策』10年の総括  
腎臓内科 生田源起 富田正郎 梶原健吾 中村朋文 山本紗友梨 伊達亮佑
- V-7 視力低下を契機に診断に至った好酸球性多発血管炎性肉芽腫症  
総合診療科<sup>1)</sup> 眼科<sup>2)</sup> 吉村文孝<sup>1)</sup> 國友耕太郎<sup>1)</sup> 榮木大輔<sup>2)</sup> 辻 隆宏<sup>1)</sup>
- V-8 入院中に甲状腺機能低下を認め、剖検にて甲状腺へのアスペルギルス感染が明らかとなった一例  
糖尿病内分泌内科 吉永智昭 木下博之 小野恵子 橋本章子 西川武志

総評・閉会の辞  
15:30

日高 道弘（国立病院機構熊本医療センター副院長）

## 熊本医療センター 学術講演会

### 「米国における限局性前立腺癌治療の最新動向」

熊本医療センター泌尿器科におきましては、去る令和元年11月1日19:00より当院研修ホールにてカリフォルニア大学サンフランシスコ校泌尿器科及び放射線科教授：篠原克人先生をお招きし、講演会を開催致しましたので御報告致します。泌尿器科領域では御高名な先生で、タレントの間寛平さんがアメリカで前立腺癌治療を受けられた際の主治医としても知られています。



カリフォルニア大学  
サンフランシスコ校  
泌尿器科・放射線治療科  
教授 しのはら かつと 篠原 克人 先生

今回、米国における限局性前立腺癌治療の最新動向と題して講演いただきました。当院でも行っている密封小線源治療（ブラキセラピー）を専門とされており、高リスク前立腺癌においては手術療法も上回る成績を示され、我々も今後の前立腺癌の治療の方向性に確かな自信を持つことができました。

篠原先生は今回、1週間程度の短期来日でしたが、鳥取大学を始め、癌研有明病院、東北大学、最後に熊本医療センターの4か所で講演を行われました。中でも熊本での参加者（院外含め70名ほど）が最も多く、講演会後の懇親会も大いに盛り上がり、先生からも有意義な楽しい時間を過ごせた事に感謝しますとお礼の言葉を頂きました。多忙な先生は2日後にはアメリカに帰国されました。

国立病院機構熊本医療センター  
泌尿器科部長

きくかわ ひろあき  
菊川 浩明



## 新任専攻医紹介

### 救命救急科専攻医

やまもと たいへい  
山本 太平



12月から救命救急部で勤務させて頂いております山本太平と申します。これまで東京医療センター救急科で勤務しており、12月～2月という短期間ではありますが当院で働かせて頂くことになっております。ご迷惑おかけすることもあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



### Step 3 ようやく姿を現しました！

外来増築棟は足場が解体され、ついにその外観が姿を現しました。7階部分の外壁には、病院名が内照式看板で取り付けられています。また院内においては、4F及び5Fの既存棟との接続部分に設置していた仮設壁が取り外されました。いよいよ完成までのラストスパートを迎えております。音や振動をはじめ、皆様にはこれまで以上に迷惑をおかけし、大変申し訳ございません。引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



### 今後のスケジュール予定

※スケジュールは、今後の工事進捗状況によって変更する場合があります。

増築棟新築工事：Step 3

～2020年 1月

外来棟改修工事：Step 4 2020年3月～2020年12月

企画課 業務班長  
安藤 隆幸

Takayuki Ando





# 研修医レポート

## 臨床研修医

阿字野 愛  
あじの まなみ



こんにちは。研修医一年目の阿字野愛と申します。長崎出身で大学から熊本にきて、そのまま熊本で研修させていただいております。4月からの研修も、早いもので半年が過ぎました。最初の頃は右も左もわからない日々でしたが、周りの方々に助けられながら、ようやく少しずつできることが増えてきて、充実した研修の日々を送らせていただいております。

私は消化器内科から研修が始まりました。消化器の先生方はとてもアットホームで、何もわからない私に優しく丁寧に教えていただきました。

た。また、毎日のエコー検査も担当させていただき、エコー検査についても学ぶことができました。

次に回った外科では、毎日のように手術に入らせていただきました。腹部臓器の解剖や、縫合の手技について理解を深めることができました。当院は救急病院なので、緊急手術も多く経験させていただきました。

3ターム目の神経内科では、脳梗塞の患者さまを多く担当させていただきました。はじめは手足が動かなかった方が、治療やリハビリによって歩けるようになっていくのを間近で見ることができ、大変やりがいを感じました。

4ターム目では麻酔科を回らせていただきました。麻酔科では、手術が安全に行えるように、万全の準備をしておくことが求められます。麻酔や手術の侵襲によって変化する患者さまの全身の状態を把握し、自分が対処しなくてはならないという責任感を強く感じ、身が引き締まりました。

現在は救急外来を研修させていただいております。救急外来には様々な症状を持った方が来院されます。安全で適切な医療が行えるように、日々勉強していきたいと思っております。まだまだ分からないことも多く、ご迷惑をおかけすると思っておりますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いたします。

## 臨床研修医

水田 貴大  
みづた たかひろ



こんにちは。研修医一年目の水田貴大と申します。鹿児島大学医学部を卒業し、今年4月から地元である熊本の国立病院機構熊本医療センターで初期臨床研修をさせていただいております。

研修開始から早半年が経ち、ローテーションも第5期に突入しました。まだまだ分からないこと、できないことばかりで周りのスタッフの方々にご迷惑をおかけしながらも日々研鑽している次第です。

4月、初めての研修先は救命救急部でした。当院は「全職員をあげて

24時間365日体制で断らない救命救急医療」を掲げており、毎日1日から3次までたくさんの患者さまが運ばれてきます。最初のローテーションが1分1秒でも早い診察・診断・治療が求められる救命救急部になるとは予想もせず、救急車で運ばれてきた患者さまに対してまず何をしたらいいかわからず、救急車搬送口で立ち尽くし無力な自分を痛感した初日のことは一生忘れないと思っております。「まずはABC。」これを基本に7週間で様々なことを学ぶことができました。

その後、呼吸器内科・血液内科・糖尿病内分泌内科で研修し、現在は循環器内科で研修をさせていただいております。心筋梗塞の患者さまの超急性期治療の実際を経験することができています。現場のスピード感を肌で感じることで非常に勉強になっています。

最後になりましたが、各科の先生方をはじめ、院内のスタッフの方々には、大変お世話になっており、本当にこの病院で研修できて良かったと感じています。今後も、何かとご迷惑をおかけすると思っておりますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願申し上げます。

## 臨床研修医

福田 俊樹  
ふくだ としき



こんにちは。研修医一年目の福田俊樹と申します。長崎大学医学部を卒業し、今年4月から地元である熊本で研修をさせていただいております。研修開始から早半年が経ち、ローテーションも第5期に突入しております。

まだまだ分からないことの方が多く、スタッフの方々に多大なご迷惑をおかけしながらも日々研鑽している次第です。

4月、私の研修生活の始まりは救急科でした。救急車が1時間に5台も6台もやってくるスピード感に置いてきぼりにされ、ホワイトボード前で右往左往した初日のことは一生忘れないと思っております。今後も当直をし

ていく上で、オーバートリアージが許容される救急外来においても、患者さまに対しての必要十分な検査を意識して研修を積んで参りたいと思っております。

その後、麻酔科ではバイタル変化に対する予測と対応を勉強させていただきました。先生方ご指導のもと投薬や輸液を実施でき、それが目の前でバイタルを変動させ、体感できたことは大変刺激的で貴重な経験でした。

その後、総合診療科・循環器内科・血液内科と研修を進めておりますが、臓器別診療の難しさを痛感するとともに各科ごとのやりがいを感じ、また病棟業務を覚えるのに悪戦苦闘する日々です。今後も問診をさせて頂くこと、検査をさせて頂くこと、手技をさせて頂くこと、を医療に慣れない私たち研修医にさせていただける環境に感謝して、日々研鑽して参りたいと思っております。

私はプライマリーコースに所属しているため当院で研修させて頂く時間も残りわずかとなってきましたが、残された時間を有意義に過ごして参りたいと思っております。今後もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

## 基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、  
良質で安全な医療を目指します。

## 運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 国際医療協力の推進
6. 健全経営

## 患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります

2020  
1月

# 研修日程表

国立病院機構熊本医療センター  
地域医療研修センター  
(096) 353-3515 (直通)

研修日程表への  
問い合わせはこちら  
研修センター QR コード▶



※二の丸モーニングセミナーにつきまして、詳細はホームページ (<https://kumamoto.hosp.go.jp>) をご参照ください。

1月	研修センターホール	研修室
1日(水)		
2日(木)		
3日(金)		
4日(土)		
5日(日)		
6日(月)		
7日(火)		
8日(水)	17:30~18:30 第120回 国立病院機構熊本医療センター クリティカルパス研究会 (公開)	
9日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー	
10日(金)		
11日(土)		15:00~18:00 熊本地区核医学技術懇話会 (研修室2)
12日(日)		
13日(月)		
14日(火)		
15日(水)		
16日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー 14:00~15:30 第82回 市民公開講座 「へびたん今むかし」 国立病院機構熊本医療センター皮膚科部長 牧野 公治	
17日(金)		15:30~16:45 肝臓病教室 (研修室2) 「脂肪肝とアルコール性肝障害」
18日(土)	8:40~15:30 第23回 国立病院機構熊本医療センター医学会	
19日(日)		
20日(月)		19:00~20:30 第251回 月曜会 (内科症例検討会) (研修室2) [日本医師会生涯教育講座1.5単位認定] 症例提示 (腎臓内科・腫瘍内科) ミニレクチャー (血液内科)
21日(火)	19:30~21:00 第62回 熊本摂食・嚥下リハビリテーション研究会 「口から食べるための食支援 ~KTバランスチャートを活用した包括的スキル~」 桜十字病院看護師長 摂食・嚥下障害看護認定看護師 建山 幸 先生	
22日(水)	19:00~20:30 第137回 総合症例検討会 (CPC)	14:00~17:00 ケースマネージメントブラッシュアップ研修 (研修室2)
23日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー 18:30~20:00 熊本県臨床細胞学会 <講演会>	26日(日) 13:00~16:10 第2回 ともに拓く会LGBT医療環境改善セミナー 定員:180名 参加費:1,000円 事前申し込み・当日参加 (いずれも可) 基調講演:性同一障害のホルモン療法-基礎理解と熊本における現状と課題- 医療法人薬邦会池田クリニック院長 池田 稔 先生 講演:想いをつなぐ 人・生活を支える看護師の視点から ともに拓く会 医療班メンバー 田村 凌 体験談:当事者3名 講演:当院における取り組み 医療法人明葉会長嶺南クリニック 平村 英寿 先生
24日(金)		
25日(土)	15:00~17:30 第28回 診断と治療 -最新の基礎公開講座- 「敗血症」 [日本医師会生涯教育講座2.5単位認定] 座長:たしま外科内科医院 院長 田嶋 哲 先生	
26日(日)	13:00~16:10 第2回 ともに拓く会LGBT医療環境改善セミナー	
27日(月)		
28日(火)	18:30~20:30 血液研究班月例会	19:00~21:00 小児科火曜会 (研修室1)
29日(水)		
30日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー	
31日(金)		

22日(水) 19:00~20:30 第137回 総合症例検討会 (CPC)  
「肺炎球菌感染症の治療中に電撃性紫斑病を併発した50代男性」  
[日本医師会生涯教育講座1.5単位認定]  
司 会:国立病院機構熊本医療センター総合診療科部長 辻 隆宏  
臨床担当:国立病院機構熊本医療センター救命救急科医長 狩野 亘平  
病理担当:国立病院機構熊本医療センター病理診断科部長 村山 寿彦  
国立病院機構熊本医療センター病理診断科医師 武藤 礼治  
※臨床経過の詳細な検討と鑑別診断を行います。最後に病理よりマクロ、ミクロの所見と剖検診断が解説されます。  
通常のレクチャー(解説)の前に、馴染みの少ない疾患、病態は、その分野に関するミニレクチャーを予定しております。基本的知識を学んだ後で活発なディスカッションをお願い致します。

25日(土) 15:00~17:30 第28回 診断と治療 -最新の基礎公開講座-  
「敗血症」 [日本医師会生涯教育講座2.5単位認定]  
座長:たしま外科内科医院 院長 田嶋 哲 先生  
(1) 敗血症の診断  
国立病院機構熊本医療センター救命救急部長 原田 正公  
(2) 敗血症性DIC  
国立病院機構熊本医療センター集中治療室長 櫻井 聖大  
(3) 新しい敗血症診療ガイドライン  
熊本大学病院災害医療教育研究センター長/教授 笠岡 俊志 先生

患者さまについてのご相談は地域医療連携室直通電話をご利用ください。

地域医療連携室直通電話 **096-353-6693**  
直通 FAX 096-353-7601  
受付 平日 8:30 ~ 17:00

熊本医療センター  
地域医療連携室副室長  
とみたか えつし  
富高 悦司



患者さまをお待たせしないために

# ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565  
096-353-6566

FAX  
096-353-6563



国立病院機構  
熊本医療センター  
地域医療連携室室長  
菊川 浩明

## 令和二年 1月外来担当医名簿

## 国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 吉村 文孝	辻 隆宏 吉村 文孝	辻 隆宏 吉村 文孝 國友 耕太郎	辻 隆宏 吉村 文孝	辻 隆宏 吉村 文孝
	血液	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 三井 士和	榮 達智 井上 佳子	日高 道弘 平野 太一	原田 奈穂子 窪田 晃
	糖尿病・内分泌	西川 武志(午前新患) 小野 恵子(午前再診)	小野 恵子(午前新患) 西川 武志(午前再診)	西川 武志(午前新患) 橋本 章子(午前再診)	木下 博之(午前新患) 吉永 智昭(午前再診)	橋本 章子(午前新患) 木下 博之(午前再診)
	呼吸器センター	(午前のみ) 名村 亮	(午前のみ) 小野 宏 熊大医師(院内コンサルト)	(午前紹介のみ) 原 英記	(午前のみ) 名村 亮	(午前のみ) 小野 宏 熊大医師(院内コンサルト)
	感染症内科		(午前のみ)小野 宏			(午前のみ)小野 宏
	腎センター(腎臓内科)	梶原 健吾	富田 正郎 伊達 亮佑	中村 朋文	山本 紗友梨	富田 正郎
	腫瘍内科	境 健爾 山本 春風	境 健爾 榮 達智	境 健爾 磯部 博隆	境 健爾 山本 春風	境 健爾 磯部 博隆
消化器病センター (消化器内科)	診 察	石井 将太郎 松山 太一 富口 純	杉 和洋 中田 成紀 久木山 直貴	杉 和洋 石井 将太郎 志茂田 美紀	杉 和洋 松山 太一 久木山 直貴	上野 茂紀 中田 成紀 富口 純
	内視鏡	午前 久木山 上野 午後 中田 久木山 上野(志茂田)	石井 志茂田 松山 上野 志茂田(石井)	松山 上野 岡本 中田 富口 上野(松山)	中田 富口 志茂田 石井 富口 志茂田	石井 松山 松山 久木山 志茂田
	腹部超音波	杉 中田 志茂田	松山 富口 上野	中田 久木山 富口	石井 上野 岡本	杉 久木山 志茂田
	心臓血管センター (循環器内科)	診 察	藤本 和輝 白尾 友宏 松川 将三(新患)	田山 信至 大塚 康弘(隔週 新患) 中嶋 直也(隔週 新患)	松川 将三 松原 純一(新患)	大塚 康弘 中嶋 直也 藤本 和輝(新患)
(心臓血管外科)	手術日	岡本 実	岡本 実 田中 睦郎	手術日	岡本 実	
精神・神経科	初めの方	満崎 晃志	山下 建昭	山下 建昭	満崎 晃志	山下 建昭 平原 信雄
	2回目からの方	山下 建昭	満崎 晃志		山下 建昭	満崎 晃志 橋本 聡 平原 信雄
小児科	診察	水上 智之 北村 由希子	岡田 拓巳	水上 智之 岡田 拓巳	水上 智之	岡田拓巳 北村 由希子
	免疫	水上 智之		水上 智之		
	アレルギー		緒方 美佳		緒方 美佳 平井 奈美	平井 奈美
外科		藤木 義敬 小澄 敬祐	水元 孝郎 井上 光弘	美馬 浩介	宮成 信友 光弘	久保田 童生
脳神経センター (脳神経外科)		大塚 忠弘 中川 隆志	手術日	大塚 忠弘 武末 吉広	中川 隆志	大塚 忠弘 水上 秀紀
	(脳神経内科)	幸崎 弥之助	小阪 崇幸	天野 朋子 津田 幸元	幸崎 弥之助 小阪 崇幸	天野 朋子 津田 幸元
整形外科	初めの方 (午前)	福元 哲也 平井 泰博 田畑 聖吾	手術日	福元 哲也 前田 智 田畑 聖吾	手術日	前田 智 中馬 東彦 松下 任彦
	再診予約の方 (午後)	福元 哲也 平井 泰博 (橋本 伸朗)		松下 任彦 唐田 宗一郎 (橋本 伸朗)		中馬 東彦 相馬 史朗
泌尿器科		前田 喜寛 鮫島 智洋	菊川 浩明 矢野 大輔 近浦 慶太	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 銘苅 晋吾 西澤 秀和	菊川 浩明 矢野 大輔
産婦人科		三森 寛幸 高木 みか	西村 弘 山本 文子	山本 文子	高木 みか 下川 理沙	西村 弘 下川 理沙
感覚器センター (眼科)		榮木 大輔 宮崎 洋子 下田 健文	(手術日)	榮木 大輔 宮崎 洋子 下田 健文	(手術日)	榮木 大輔 宮崎 洋子 下田 健文
感覚器センター (耳鼻咽喉科)		手術日	上村 尚樹 竹本 梨紗	手術日	外来検査日 (完全予約制)	上村 尚樹 竹本 梨紗
感覚器センター (皮膚科)	初診(紹介あり)	城野 剛亮	牧野 公治	島田 佳奈子	西 葉月	島田 秀一
	再診 (初診 無紹介)	島田 佳奈子 城野 剛亮	西 葉月 牧野 公治	島田 秀一 島田 佳奈子	城野 剛亮 西 葉月	牧野 公治 島田 秀一
形成外科		(午 後) 大島 秀男 東野 哲志 前山 徹	(午 後) 担当医 (紹介のみ)	手術日	(午 後) 大島 秀男 東野 哲志 (自費診療) 前山 徹	(午 後) 大島 秀男 東野 哲志 前山 徹
放射線科	治療(予約制)	富高 悦司、 福川 喜之、 松本 忠士				
	画像診断	吉松 俊治、 浅尾 千秋、 伊藤 加奈子、 根岸 孝典、 幸村 紘子				
麻酔科		宮崎 直樹 (術前診察/麻酔相談)		光田 祐樹 (麻酔相談)		古庄 千代 (麻酔相談)
緩和ケア外来		磯部 博隆	榮 達智	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆
歯科 口腔外科		中島 健 谷口 広祐 森 久美子 中尾 美文	中島 健 谷口 広祐 森 久美子 中川 文雄 中尾 美文	中島 健 谷口 広祐 森 久美子 中尾 美文	中島 健 谷口 広祐 森 久美子 中川 文雄 中尾 美文	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文
救命救急センター		原田 正公、 北田 真己、 櫻井 聖大、 洪沢 崇行、 清水 千華子、 山田 周、 狩野 亘平、 江良 正、 橋本 聡、 樋 直晃、 深水 浩之、 山本 太平、 松尾 悠史、				
看護外来	ス टीम	吉村 文孝		木村 文彦	田中 拓道	宮内 大介
	がん看護	専門看護師(午前)	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師
	移植後フォローアップ	専門看護師(午前)	専門看護師	専門看護師	専門看護師	専門看護師
薬剤師外来	がん化学療法	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師

(注)担当医は都合により変更することがあります。手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。

R2/1/1